

珠算教育一筋60年

守口門真珠算協会会長・大西信二さん

傘寿記念し「あゆみ」出版



守口門真珠算協会会長で浪速少年院篤志面接委員協議会会長の大西信二さんが、傘寿記念誌「珠算教育60年のあゆみ」を出版した。1960年の大学3年の時に珠算塾を始めて以来、60年にわたっての珠算教育一筋の歩みを社会情勢や世相も織り込みながらまとめた。

大西さんは立命館大3年の時に「制服を背広に着替えて 珠指導 子供達から 数多を学び」と珠算塾を開校。卒業後は珠算塾を運

営しながら商業高校教諭として23年間勤務した。そして珠算教育に専念するため

「青春を かけて指導の浪商校 退いて新たな珠算指導」と決意を歌う。記念誌では「将来を めざして建て替え 新教室 心を新たに 珠算の振興」

「ソロバンが 世界の園へ 拡まんと 英文教書 完成をみる」「少年院 指導の内容 報告し 珠算効用 詳細に述べ」など、教室を増やし、海外への普及や少年たちへの矯正活動に努める様子などが思い出の写真とともに収録され、大西



さんの珠算教育にまい進する日々が紹介されている。大西さんは「今後も微力ながら珠算の振興、珠算教

育を通して少年たちへの矯正活動にも努めたい」と決意を新たにしている。

(大山勝男)

「珠算指導60年を、珠算教育の状況を1年目から振り返りまとめました」と話す大西さん